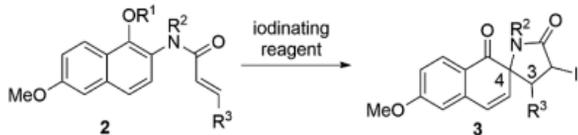
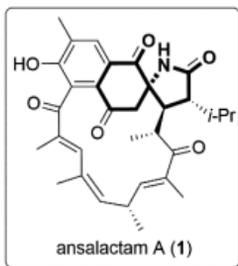


27PA-am006S

アクリルアミドを用いたジアステレオ選択的スピロ環化反応の開発研究
○若槻 雅哉¹, 横江 弘雅¹, 津吹 政可¹ (星薬大)

【目的】 Ansalactam A (**1**) は海洋放線菌 *Streptomyces.sp* より単離された抗菌、抗がん活性が期待される化合物である¹⁾。その全合成においてはスピロ γ -ラクタム骨格を如何に構築するかが鍵であり²⁾、我々はこれまでに、その合成方法について検討を重ねてきた³⁾。今回、C-3 位及び C-4 位連続不斉中心のジアステレオ選択的な構築方法の確立を目的に、アクリルアミド **2** を基質として用いたスピロ環化反応を計画した。

【方法・結果】 ヨウ素化試薬のスクリーニングを行って、**2** から **3** を得る条件を見出した。また、ナフトール水酸基上の置換基 R¹、窒素及びアルケン上の置換基 R²、R³ の反応性への影響を検討した。



- 1) Moore, B. S. *et al.*, *J. Am. Chem. Soc.* **2011**, *133*, 1971–1977.
- 2) Trauner, D. *et al.* *Tetrahedron Lett.* **2014**, *55*, 59–62.
- 3) 若槻 雅哉 *et al.* 日本薬学会 第 137 年会、25PA-am085S